

5/19 鶉野飛行場跡ガイドグッズ贈呈式



▲ボランティアガイドと鶉野平和祈念の碑苑保存会の皆さん

鶉野飛行場への平和ツーリズムの充実に向けて、鶉野平和祈念の碑苑保存会から加西市歴史街道ボランティアガイドの8名に戦争遺跡群の解説用グッズが贈呈されました。8名のガイドは29年度、保存会が開催した「鶉野飛行場跡ガイド養成講座」(全5回)を受講、修了された方々です。現在、加西市と保存会が連携し、鶉野へ多くの方が訪れる取り組みを進めています。

5/19 収容所跡 活用策を学ぶ



▲自らの経験談を語る上谷さん

富合地区ふるさと創造会議(ももこの11)では、地域に残る「青野原俘虜収容所跡」を生かしたまちづくりを進めようと、郷土史家・戦史研究家の上谷昭夫さんを講師にむかえ、太平洋戦争の歴史遺産として知られる鶉野飛行場跡の事例に学ぶ講演会を別府西町公民館で開催しました。参加した約70名の住民らが、自分たちのまちづくりに生かそうと聞き入りました。

5/21 めざせ輸出！加西農業塾開催



▲農産物の輸出促進について話す細川さん

加西農業塾『MADE IN KASAI～加西産農産物を世界へ～』と題し、加西市役所での勤務経験もある農林水産省食料産業局企画課の輸出促進推進員の細川嘉一さんをお招きし、日本農業の方向性や輸出促進の現状についてご講演いただきました。

当日は、農業者や農産加工関係者など約60人が参加し、熱心に講師の話に耳を傾けました。

6/1 レザークラフト体験で人権を学ぶ



▲製作しながら皮革業について学んだ参加者

レザークラフト体験を通じて、皮革業について考える「キラリ・ハートフル講座」が中央公民館で行われました。参加者14人は、講師の増本久仁子さんの指導を受けながら、レザーを好きな色に染め、道具を使ってデザインを描き、オリジナルのコインケースを完成させました。参加者からは、「かわいい小物が作れたので、大切に使いたい」との声がありました。

6/4 ハリマ王にんにくを採ったど～！



▲収穫したハリマ王にんにくを手に笑顔の児童

昨年10月に、賀茂小学校の児童が同校農園で、加西市特産のハリマ王にんにくの植え付けを行いました。ハリマ王にんにく研究会メンバーの指導のもと、草引きや追肥をするなど丹精込めて育ててきました。このたび、3年生の児童が立派に育ったにんにくの株を収穫し、皮むき体験などを行いました。収穫したハリマ王は、約1カ月陰干しした後、学校で調理したり、自宅で食べたりします。

6/10 シーズン到来、あびき湿原観察会



▲あびき湿原を観察する参加者

九会地区ふるさと創造会議が主催したあびき湿原の観察会が実施され、55名が参加されました。

当日は、あびき湿原保存会の皆さんが解説や案内をされました。参加された皆さんは、真っ赤なハッチョウトンボや色鮮やかなノハナショウブなどを湿原の中にある木道の上から観察し、自然の素晴らしさに感動しました。

6/13 小学生がバケツで！？稲作り



▲自分たちの名前を書いたバケツに苗を植える児童たち

賀茂小学校4年生が総合的な学習の時間に田んぼに見立てたバケツを利用して紫黒米の栽培に取り組みました。賀茂地区ふるさと創造会議の山下会長やJA職員たちから米の品種の特徴や栽培こよみ、各作業の役割など説明を受けたあと、各自のバケツに植え付けをしました。また、キヌヒカリなど他の品種の栽培も同時に行い、紫黒米の特徴を今後観察していきます。

6/16 第1回北条を「食べる」会を開催



▲北条のにぎわいづくりについて話し合う参加者

地域交流広場「まちなか春陽堂」において、“「食」からつくる地域のつながり”をテーマに、第1回北条を「食べる」会が開催され、地域住民や起業希望者などさまざまな分野の方約30名が参加されました。

当日は、起業希望者や地元の方のご協力で準備した朝ごはんを食べながら、おのこの活動で北条のにぎわいづくりができないかなどを話し合いました。